



平成 20 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名：株式会社 レッグス
代表者名：代表取締役社長 内川 淳一郎
(J A S D A Q ・ コード番号 4286)
問合せ先：執行役員マネジメント部長 中矢 猛
電 話：03-3408-3090

平成 20 年 12 月期中間期（連結・単体）業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 2 月 26 日付当社「平成 19 年 12 月期 決算短信」および平成 20 年 4 月 23 日付当社「平成 20 年 12 月期 第 1 四半期財務・業績の概況」にて発表いたしました平成 20 年 12 月期中間期（連結・単体）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 12 月期中間連結業績予想の修正

(1) 中間期の業績予想（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）の修正

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益	1 株 当 たり 中 間 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,929	133	132	59	2,284 73
今回修正予想 (B)	3,697	112	110	45	1,768 05
増減額 (B-A)	△232	△21	△22	△14	-
増減率 (%)	△5.9	△15.8	△16.7	△23.7	-
(ご参考) 前中間期実績	3,850	322	326	100	3,847 43

(2) 修正の理由

当連結中間会計期間において、売上高については、特に飲料を中心とする戦略クライアント向けで当初の予想売上高を下回ったことと、利益については、株式会社レッグス単体での内部統制構築費用等の販管費が当初の見込みほどかからなかったものの、前年同期実績の OEM 顧客向け高利益率案件が当中間期はなかったことや、当中間期は低利益率で戦略的に受注した大型案件があったこと等により売上総利益が当初の見込みに届かず、これに伴い営業利益、経常利益および中間純利益について、当初の予想を下回る見込みとなりました。

2. 平成20年12月期中間単体業績予想の修正

(1) 中間期の業績予想(平成20年1月1日～平成20年6月30日)の修正

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,754	△76	13	5	221 42
今回修正予想(B)	2,716	△16	74	44	1,746 80
増減額(B-A)	△38	60	61	39	-
増減率(%)	△1.4	-	469.2	780.0	-
(ご参考)前中間期実績	2,810	99	169	30	1,170 36

(2) 修正の理由

当単体中間会計期間においては、当初の営業利益、経常利益の業績予想数値が小さかったことに加え、株式会社レッグス単体での内部統制構築費用等の販管費が当初の見込みほどかからなかったことにより、営業利益、経常利益および中間純利益について、当初の予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期の見通しについては、原材料高の影響等による広告・販促業界の見通しに対しての厳しさは増しつつあるものの、足元の引合・受注状況については、大型案件の引合・受注が比較的順調であることから、現時点では連結および単体の業績予想について特に変更はいたしません。

※業績予想の利用に関する注意事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上